

第6回 世界の化石展

—化石は**太古の記憶、神の彫刻**である—

(医)康仁会 理事長 高比 康臣

日時：平成26年12月10日(水)～16日(火)
午前10時～午後5時

土日(13日・14日)：午後1時～午後5時

場所：西の京病院 4Fメビウスホール

1F受付横のエレベーターでお越しください。

ご挨拶

世界の化石展も今年で6回目を迎えることになりました。今回は私の化石収集の集大成とも言えるべき“脊椎動物”、つまり両生類、爬虫類、ワニ類、カメ類、恐竜、翼竜などのルーツ（原型）となるペルム紀～白亜紀までの稀少かつ美しい化石を展示します。脊椎動物の化石は今では国外への持ち出しが禁じられており、このように多くの完全な化石を一堂に鑑賞できる機会はめったにありません。とくに最近注目されているマダガスカルのパルム紀前期（28000万年前）の水棲爬虫類の2体の化石は2013年に発掘されたもので、恐竜のルーツとも考えられています（本邦初公開?!）。

